

平成30年度 第5回沼田市市民構想会議の概要について

1 日 時 平成30年10月23日（火） 午後2時～4時15分

2 場 所 沼田市役所第二会議室（北庁舎3階）

3 出席者 ◆委員

木村敬史会長

大平孝雄委員、小林和幸委員、中澤 均委員、桑原幸夫委員、

太田あや子委員、小林 好委員、堤美也子委員、金子 充委員

小田川裕哉委員、角田郁夫委員、沼田康子委員、佐山春樹委員

（13名／24名）

◆アドバイザー 篠田 暢之氏

（事務局 石井企画課長、武井企画係長）

4 配付資料

○次第

○第4回沼田市市民構想会議の概要について

○第4回沼田市市民構想会議概要〔要約〕

○「観光振興」に関する主な意見

5 内 容

（1）開 会（事務局）

（2）あいさつ（木村敬史会長）

（3）前回の会議結果について

○森林問題に関する議論が深掘されておらず、森林問題は沼田市が森林文化都市を標榜するためにはどうしても越えなければならない課題である。

○森林環境を守るために必要な間伐が行われず森林が荒廃しており、景観の悪化、災害の発生が懸念される。

○コスト面で採算が合わないことが、間伐が行われなくなった原因であるので、間伐材を販売できる方策の実現が必要であり、これは環境保全の問題としても行政が大きく関与していくべき課題である。

・市内観光地のサイン（看板）への木材の活用。

・需要の増加が期待できる薪としての販売。

○大径木を伐り出しても諸々のコストが高く、採算が合わない。

・大径木を求めている人と生産者との情報が噛み合っていない。

・製材業の衰退から近隣に賃挽きを受ける製材所がなく、コストが嵩む要因となっている。

○現在は個々に伐採が行われており計画性がないため、一定のルールを設けて計画的に伐採を実施していく必要がある。

・山林の管理には専門的な知識が必要であるため、専門家の知識を借りる方策を考える必要がある

(4) 協議事項

1) 「観光振興」に関する意見について

【協議経過】

○各委員から提出された「観光振興」に関する意見及びアドバイザー提供資料をもとに、現状と課題、あるべき姿、改善策などについて議論した。

【主な意見】

○インバウンドについて

- ・現在は日本人観光客よりも外国人観光客の方が多くなっているが、外国人観光客がいることで、落ち着かないと感じる日本人観光客もいるため、どう対応するのかということを中心に考えなければならない。
- ・東京オリンピックに向けて外国人観光客が増加しているので、インバウンドは避けて通れないが、通訳の確保に苦慮しており、市内在住の外国人の方に協力していただくと有り難い。(中国、台湾、タイなど)
また、様々な国から来ていただいているので、トラブル避けるためにも説明を多言語化する必要がある。(入浴マナーなど)
- ・最近では利根沼田地域の高校との交流のために、台湾から修学旅行で来ていただいている。
- ・インバウンドは時代により変化していくので、余りにインバウンドに偏りすぎてしまうことは避けるべきであり、日本人観光客に対する配慮も必要である。

○利根沼田地域が一体となった観光振興について

- ・沼田市だけの観光振興は難しいため、沼田市が周辺地域を巻き込むかたちで利根沼田地域が一体となった観光の振興が必要である。
- ・現状では一体化しているようであり、実は問い合わせ先がバラバラなので、利根沼田地域の観光に関して全て対応できる専門部署の設置が必要である。
- ・学術的な問い合わせも多いことから、そうした専門部署には学芸員も配置すべきである。
- ・尾瀬は利根沼田地域に共通する観光資源であるため、尾瀬の魅力をしっかりと活用していくべきである。

○観光資源について

- ・観光資源があっても分散していて、その力を活用しきれていないので、お金をかけずに廃校舎を利用した資料館を設置し、学芸員を配置するなど、そこへ行けば沼田市の成り立ちや歴史など地域の概要を知ることができる観光の核となる施設が必要である。
- ・クラウドファンディングは資金調達だけでなく、マーケットを調べるためのものであるため、まずは観光資源の洗い出しを行い、ビジネスにつながるものがあれば、クラウドファンディングを活用してやってみてはどうか。

○その他

- ・沼田市には様々な観光資源があるが、現在は真田時代に偏りすぎているように感じるので、沼田の歴史や産業をもっと広くガイドできるシステムを考えるべきである。(その一方で、真田の歴史を聞くために来ている方も多く、そうした方々にはやはり真田の歴史を中心に説明する必要があるとの意見があった。)
- ・観光基本計画の着実な推進が重要であり、市民目線で点検、検討を行っておく必要がある。
- ・観光振興は、結局のところ他所との競争であるので、ある程度インパクトが強いものを考えていく必要がある。

2) 提言に向けた検討について(「人口減少対策」)

【協議経過】

- 今回の検討テーマである「人口減少対策」について、アドバイザーからアドバイスをいただいた。

【要旨】

- 現在の人口減少対策の効果が現れるのは20年～30年後であり、最早、人口減少を止めることは難しい状況である。
- 即ち人口減少対策は、人口が減少していく中で、人生100年時代を生きていく私たちが健康で幸福に生きていくためには、どのようなまちでなければいけないのかという問題である。
- 深刻な人手不足や人口減少対策として外国人労働者の滞在資格の緩和が検討されているが、今後、外国人労働者が急増していくなかで、宗教や民族性の違いに対する当地域の事前対策を考えておくことが大きな課題であると考えられる。
- 年金の支給年齢が70歳になることにより、地域住民同士の連携がより密接なかたちで求められるようになると考えられるが、そのための対策や知恵がこの地域にあるのか検討しておくべき課題である

【結論】

- 今回のアドバイスを踏まえ、「人口減少対策」の現状と課題、あるべき姿、改善策について、各委員からの意見を書面でご提出いただくこととした。

3) その他

- 今後の会議日程を次のとおり確認した。
 - ・第6回会議 11月20日(火) 午後2時 沼田市役所 第二会議室
 - ・第7回会議 12月19日(水) 午後2時 沼田市役所 第二会議室

(5) 閉会(事務局)